

外観パースイメージ  
※外観・色等は、変更になる可能性があります。

## 【設計方針】

『市民の誇り』『安全と安心』『賑わいと情報発信』『豊かな資源』をつなぐ『大崎モデル』を実現する循環型庁舎

新庁舎建設の基本理念である『時代の変化（潮流）』に対応する地方自治の拠点を実現するため、以下の3つの項目を定めました。

### 基本方針1

みんなが利用しやすく、親しみのある庁舎

- コンパクトでフレキシブルな平面計画とした「高効率な行政機能エリア」と、まちの賑わいと親しみを生み出す「市民に開かれた市民交流エリア」で構成します。
- 市民窓口を1・2階に集約し、サービスとわかりやすさを考慮し、また避難の安全性にも配慮します。執務室エリアを3～4階に集約することで、連携強化・業務効率を大幅に向上する施設計画とします。
- 議会の独立性に配慮し、5階に議会関連機能を集約配座します。
- 高齢者や家族連れ、車椅子利用者まで、ユニバーサルデザインを徹底し、みんなにやさしい庁舎とします。
- 歩行者も気軽に立ち寄れるように、市民活動を屋外にも「見える化」を徹底した計画とし、まちに賑わいを生み出す計画とします。

### 基本方針2

災害に強く、情報・交流拠点としての庁舎

- 市の防災拠点の強化を図るため、防災機能を同一フロアに集約し、災害対策本部への迅速な転換を図ります。
- 市民交流エリアの1階に「屋内広場」を配置し、災害発生直後の来庁者の一時的避難場所や被災者支援の活動拠点として機能します。
- 市民の安全を守る堅牢な構造計画とし、耐震安全性の確保を図ります。また、内装材や非構造部材（設備機器等の落下物）についても耐震化を図ります。
- 地震以外の台風・豪雨への水害に備え、1階床レベルを現状地盤高さより高く設定するなど浸水対策の強化を図った計画とします。

### 基本方針3

環境へ配慮し、管理コストを考慮した庁舎

- 施設を「行政機能エリア」と「市民交流エリア」の2つのエリア構成とし、シャッターまたは建具等で市民開放ゾーンの単独利用を可能とする施設構成とします。
- 市民交流エリアの個室は、各種団体やボランティア、文化活動等の協働・交流の受け皿となる「市民協働スペース」としても機能します。
- 市民交流エリアの1階には、世界農業遺産「大崎耕土」をはじめとする大崎市の観光資源を広くアピールする「観光・地域産業PRスペース」を配置します。
- 家具・内装材は大崎市産木材を使用するなどし、親しみと温かみのあるやさしい庁舎づくりを推進します。
- 施設を「行政機能エリア」と「市民交流エリア」の2つのエリア構成とし、シャッターまたは建具等で市民開放ゾーンの単独利用を可能とする施設構成とします。
- 自然エネルギーを最大限活用した環境配慮型庁舎とします。
- 「再生可能エネルギー」+「建設コスト削減手法」+「ランニングコスト削減手法」で総合的にライフサイクルコストの低減を図ります。
- プレキャストコンクリートの採用や外壁のユニット化により工期を縮減し、イニシャルコストの低減を図ります。

設計概要

(1) 敷地概要

建設地 : 宮城県大崎市古川千手寺町一丁目 47 番ほか  
 敷地面積 : [南側敷地] 4,479.29 m<sup>2</sup> [北側敷地] 6,737.51 m<sup>2</sup>  
 [東庁舎敷地] 833.15 m<sup>2</sup>  
 用途地域等 : 都市計画区域・商業地域  
 許容容積率 : 400%  
 許容建蔽率 : 80%  
 防火地域 : 準防火地域

(2) 建築計画概要【本庁舎棟（北側敷地）】

主要用途 : 市庁舎（事務所）  
 工事種別 : 新築  
 構造 : 鉄骨造  
 建築面積 : 3,563.82 m<sup>2</sup>  
（本庁舎棟 [北側敷地] : 3,322.14 m<sup>2</sup> / 公用車庫棟 : 1,665.0 m<sup>2</sup> / 総面積 : 75.18 m<sup>2</sup>）  
 延床面積 : 12,084.45 m<sup>2</sup>  
（本庁舎棟 [北側敷地] : 11,040.43 m<sup>2</sup> / 公用車庫棟 : 1,065.94 m<sup>2</sup> / 総面積 : 75.18 m<sup>2</sup>）  
 容積率 : 171.79%  
 建蔽率 : 52.89%  
 階数 : 地上 5 階建  
 最高高さ : 25.60 m  
 昇降機 : 乗用旅客椅子用 15 人乗り × 2 台  
 乗用 20 人乗り × 1 台  
 付帯施設 : 公用車庫庫・駐輪場  
 予定工期 : 工事着工予定 令和 3 年 3 月  
 工事竣工予定 令和 4 年 11 月

(3) 構造計画概要

構造形式 : 耐震構造（重要度係数 1.5）  
 構造種別 : 鉄骨造  
 架構形式 : ラーメン + プレース構造  
 基礎形式 : 杭基礎（既製コンクリート杭）

(4) 電気設備概要

受変電設備 : 受電方式…6.6kV1 回線受電 屋外キュービクル  
 一般電灯…150kVA × 3 台  
 一般動力…300kVA+200kVA  
 非常保安電灯…100kVA  
 非常保安動力…300kVA  
 非常用発電機設備 : ディーゼルエンジン発電機…750kVA  
 燃料 ……軽油  
 稼働時間…72 時間（オイルタンクによる備蓄）  
 太陽光発電設備 : 太陽光パネル…32.94kw  
 幹線動力設備 : 動力…三相 3 線 200V  
 電灯…単相 3 線 200V/100V  
 照明設備 : LED 照明器具  
 人感センサー及び集中管理（共用部）  
 避雷設備 : 避雷針及び複上導体方式（導体は構造体を利用）  
 ※新保険レベルII  
 自動火災報知機設備 : GR 型受信機  
 その他設備 : 情報表示設備、非常放送設備、映像・音響設備、  
 テレビ共聴設備、誘導支援設備、監視カメラ設備、  
 電気時計設備、防犯警報設備、屋上融雪設備

(5) -1 機械設備概要 空調換気概要

熱源設備 : 地中熱ヒートポンプチラー  
 空気熱源ヒートポンプチラー  
 ビル用マルチエアコン（EHP、GHP）  
 空調設備 : 床吹出空調による床層射冷暖房  
 （行政機能エリア 1,2 階、市民交流エリア 1 階）  
 全熱交換器 + 個別空調 等  
 （その他の空調対象室）  
 換気設備 : 全熱交換機による第一種換気方式（空調対象室）  
 排気ファンによる第三種換気方式（トイレ・倉庫等）  
 排煙設備 : 自然排煙方式 及び 排煙免除  
 中央監視 : 中央監視装置 + 空調集中リモコン

(5) -2 機械設備概要 給排水衛生設備概要

上水給水設備 : SUS 製受水槽 + 加压給水ポンプユニット  
 雑用水給水設備 : SUS 製受水槽 + 加压給水ポンプユニット  
 給湯設備 : 小型電気温水器・ガス瞬間湯沸かし器  
 排水設備 : 屋内分流（汚水 + 雑排水）方式  
 衛生器具設備 : 節水型衛生器具  
 消火設備 : 屋内消火栓設備、消火器、連結送水管

各棟別床面積【本庁舎棟（北側敷地）】

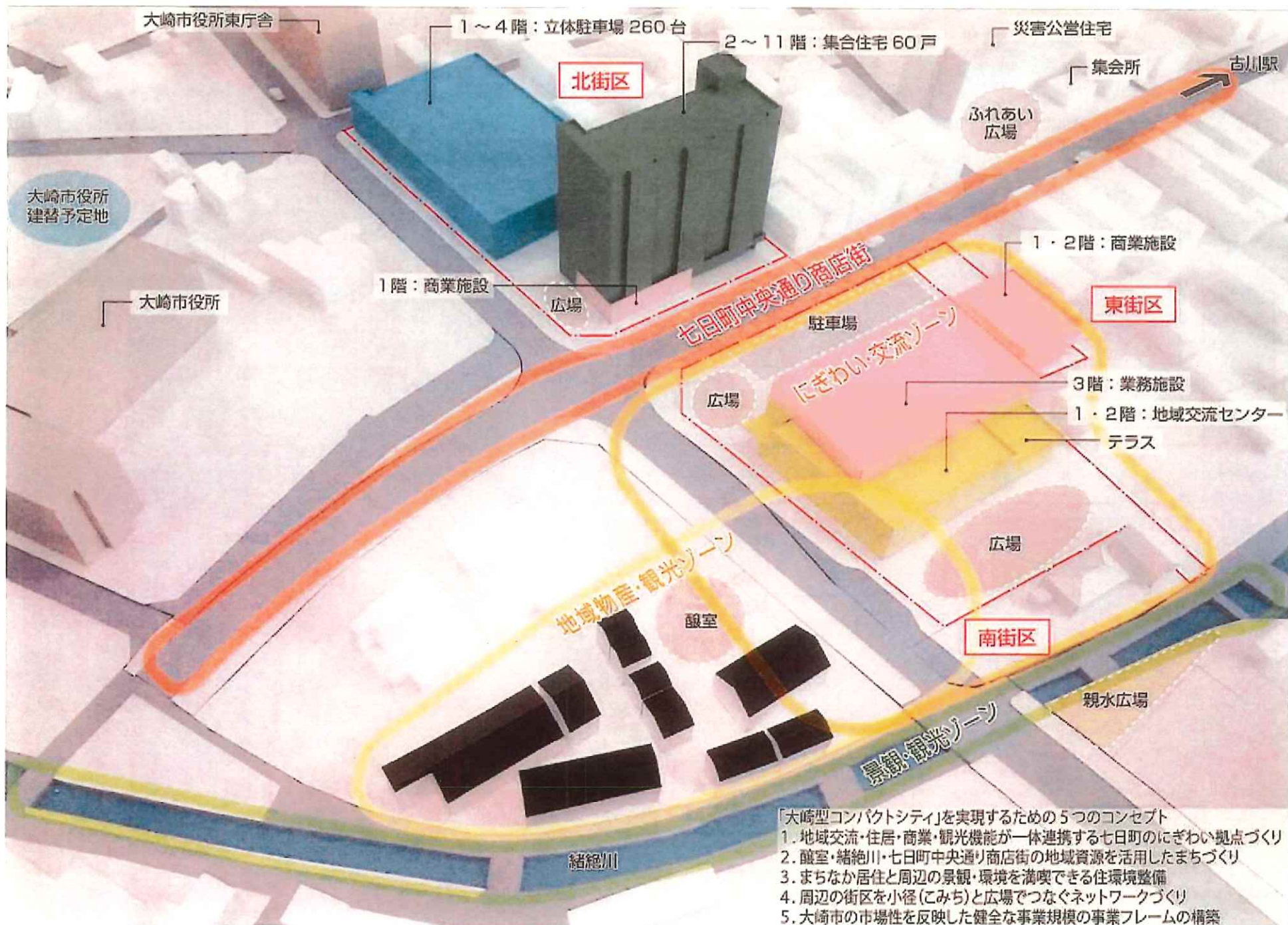
【本庁舎棟】※おもしのり駐車場合は		【公用車庫棟】	
PH 階	… 46.70 m <sup>2</sup>	PH 階	… 14.00 m <sup>2</sup>
5 階	… 1,970.89 m <sup>2</sup>	1 階	… 154.84 m <sup>2</sup>
4 階	… 1,976.00 m <sup>2</sup>	【合計】	… 169.84 m <sup>2</sup> → B
3 階	… 2,742.54 m <sup>2</sup>	【駐輪場棟】	
2 階	… 2,321.35 m <sup>2</sup>	1 階	… 75.18 m <sup>2</sup>
1 階	… 2,782.95 m <sup>2</sup>	【合計】	… 75.18 m <sup>2</sup> → C
【合計】	… 11,840.43 m <sup>2</sup> → A	【延床総合計】	A+B+C=12,084.45 m <sup>2</sup>
			※容積対象延床面積 (11,574.59 m <sup>2</sup> )

【案内図】



外観パースイメージ  
 ※外観材・色等は、変更になる可能性があります。





- 「大崎型コンパクトシティ」を実現するための5つのコンセプト
1. 地域交流・住居・商業・観光機能が一体連携する七日町のにぎわい拠点づくり
  2. 醸室・緒総川・七日町中央通り商店街の地域資源を活用したまちづくり
  3. まちなか居住と周辺の景観・環境を満喫できる住環境整備
  4. 周辺の街区を小径(こみち)と広場でつなぐネットワークづくり
  5. 大崎市の市場性を反映した健全な事業規模の事業フレームの構築